2016年度

神戸女学院大学大学院

人間科学研究科博士前期課程

入学試験要項

神戸女学院大学

目　　次

ミッションステートメントと3ポリシー …… 1
2016年度　大学院人間科学研究科博士前期課程入学試験要項
1．入学定員 …… 2
2．出願資格 …… 2
3．試験日 …… 2
4．試験科目・試験時間割および試験場 …… 2
5．受験上の注意 …… 3
6．出願期間・方法 …… 3
7．出願手続き …… 4
〔Ⅰ〕出願書類 …… 4
〔Ⅱ〕入学検定料の納入方法 …… 4
〔Ⅲ〕出願要領 …… 4
〔Ⅳ〕出願上の注意 …… 4
8．志願票・受験票記入上の注意 …… 5
9．判定結果通知 …… 7
10. 入学手続き …… 7
11. 納付金 …… 7
12. 社会人入学 …… 8
神戸女学院大学大学院人間科学研究科概要
人間科学専攻　博士前期課程 …… 9
学校案内図 …… 16

神戸女学院大学大学院

ミッションステートメント

神戸女学院大学大学院は、学ぶ者と働く者が共に学院標語「愛神愛隣」に基づくキリスト教の精神を分かち合い、時代の潮流に流されることなく、置かれた場で、利害を超え、自らの役割を感知し、果たし、人にとって真に大切なものを見分ける、共感性の高い人格への成長を目指します。

アドミッション・ポリシー（入学者選考の基本方針）

本学大学院のミッションステートメントとアカデミック・ポリシーをよく理解し、それぞれの研究科・専攻の教育課程を履修するために必要な基礎学力を備えた人を受け入れます。本学における学びを通して建学の理念を体得し、与えられた知恵と力を社会に生かして、隣人に仕えることを志す人を迎えます。

アカデミック・ポリシー（カリキュラムの編成方針）

キリスト教主義の歴史ある女性高等教育機関としての伝統に基づき、現代の女性のライフステージの多様さを理解し、専門的な知識と応用力を身につけた共感性の高い人格を養成します。そのために、文学研究科（修士課程、博士前期・後期課程）、人間科学研究科（博士前期・後期課程）、音楽研究科（修士課程）を置き、次のような方針に基づいてカリキュラムを編成します。

1）専門的学術理論・技術の教授と研究、2）論理的思考力の養成、3）専門知識と技術の社会的還元、4）文化・思想・科学の進歩に寄与する独創性の育成

ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与に関する方針）

神戸女学院大学大学院では次のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した大学院生に対して所定の委員会での審議を経たうえで、修了が認定されます。

1）本学の大学院生が修了時に備える能力

本学大学院の博士前期課程・修士課程を修了した者は体系的に身につけた専門的なものの見方や表現力、専門的技術を活かした教育・研究キャリアに従事する能力を身につけています。また、専門領域の知識や技術を有効に社会に還元するためのものの見方、共感性の高い人格的教養を身につけています。

本学大学院の博士後期課程を修了した者は専門領域のより深い知識と思考力を身につけ、自立した研究者、指導者としての能力を身につけています。

2）修了に値する学生を認定する手段

人間科学研究科では修士論文を主査および副査が審査し、公開された修士論文発表会と審査委員による口頭試問を行い、研究科委員会で合否を判定します。博士論文の審査は、研究科委員会で選出された主査および副査による論文審査、公開の論文公聴会と口頭試問を行います。研究科委員会での審議を経たのち、大学院委員会で合否の判定を行います。修士号および博士号を授与された論文は製本されて本学図書館に保管され一般の閲覧に供します。合格した博士論文は3ヶ月以内に論文要旨、審査結果の要旨を学内学術刊行物に公表します。

3）学位論文審査基準

＜修士論文審査基準＞

1　それぞれの専門分野にふさわしい研究目的が設定され、広く科学の進歩に寄与することを目指していること。
2　その専門分野の研究の中で適切に位置づけられ、かつ独自性が示されていること。
3　研究目的にそって適切な方法と倫理的な配慮のもとで研究が行われ、分析されていること。
4　論文全体が一貫した論理で構成され、結論が合理的に導き出されていること。
5　論文の内容が体系的に身につけた専門的なものの見方に裏づけられ、専門的技術を活かした教育・研究キャリアに従事する能力を身につけていることを示していること。

2016年度　大学院人間科学研究科博士前期課程入学試験要項

1．入　学　定　員

人 間 科 学 専 攻　10名

2．出　願　資　格

次の各項のいずれかに該当する女子。

1．大学を卒業した者および2016年３月末までに卒業見込みの者。
2．学位授与機構により学士の学位を授与された者。
3．外国において、学校教育における16年の課程を修了した者および2016年３月末までに修了見込みの者。
4．文部科学大臣の指定した者。
5．本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者。
6．大学を卒業した者と同等以上の学力があると本大学院が認めた者。
7．専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者。

3．試　　験　　日

受験分野	a．秋 季 試 験	b．春 季 試 験
臨床心理学	2015年９月15日㈫　筆記試験 ９月16日㈬　面接	2016年２月18日㈭　筆記試験 ２月19日㈮　面接
人間行動学 環 境 科 学 健 康 科 学	2015年９月15日㈫　筆記試験・面接	2016年２月18日㈭　筆記試験・面接

4．試験科目・試験時間割および試験場

◎１日目

受験分野	科　　目	時　　間	試験場 (理学館)
全 分 野 共 通	第 2 希 望 分 野 専 門	9：20〜10：20（60分）	S-7
	人 間 科 学 専 門[注1・注2]	10：30〜12：10（100分）	S-19
	人間科学共通 英　語	13：00〜13：40（40分）	S-19
	人間科学共通 日本語論述	13：50〜14：30（40分）	S-19
人 間 行 動 学 環 境 科 学 健 康 科 学	面　　接	14：40〜　（１名５分程度） 面接終了後随時解散	S-18

注１　人間科学専門：臨床心理学・人間行動学・環境科学・健康科学に関する分野のいずれか
注２　各科目には英語問題を含む。但し、辞書の持ち込みは不可。
※臨床心理学分野の受験者は、17時頃に試験本部前において筆記試験合格者を発表しますので、確認してください。
※試験場はP.16「学校案内図」参照のこと。
※都合により、試験場は変更されることもあるので、当日の案内・掲示等に従ってください。

※前ページ「試験科目・試験時間割および試験場」の続き

◎2日目（臨床心理学分野　筆記試験合格者のみ）

受験分野	科　　目	時　　間	試験場（理学館）
臨床心理学	面　　接	10：00～　（1名20分程度）	S-18

5．受験上の注意

・試験開始10分前までに試験場に入場し、各自指定された席に着席してください。
・**試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験できません。**それぞれの試験の退出可能時間は、試験開始後20分以後です。
・受験票は必ず携行してください。万一紛失したり、忘れた場合は、人間科学部事務室に申し出てください。
・答案は必ずＨＢの黒鉛筆（シャープペンシルは0.5㎜以上の芯）で記入してください。
・不正行為者には直ちに退場を命じ、全科目を無効とします。
　試験場においては、すべて監督者の指示に従ってください。
・その他
　⑴　自動車の学内乗り入れは禁止しています。
　⑵　携帯電話等は鳴らないようにしてその他の荷物に入れてください。
　⑶　試験場から離れるときは、貴重品を必ず携行してください（紛失の責任は一切負えません）。

6．出願期間・方法

1．期　　間

a．秋季募集	b．春季募集
2015年8月17日㈪～8月25日㈫	2016年1月25日㈪～2月2日㈫

2．提　出　先　〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山4番1号
　　神戸女学院大学　人間科学部事務室

3．方　　法　郵送による出願（書留速達）に限ります（締切日消印有効）。

7．出 願 手 続 き

〔Ⅰ〕出願書類

1．志願票・受験票	本学所定の用紙
2．成 績 証 明 書	出身大学の成績証明書
3．今までの主な研究内容	本学所定の用紙
4．志望ゼミ・志望理由および研究希望テーマ	本学所定の用紙（表面にまとめること。第2希望分野がある場合のみ、裏面に記入。）
5．健 康 診 断 書	本学所定の用紙を用い、願書受付日前3か月以内に公的機関もしくはそれに準ずる病院で作成したもの。 （本学卒業見込みの者は、証明書自動発行機の診断書でも可。）
6．英検・TOEFLおよびTOEICアンケート	本学所定の用紙

注）受験票は出願締切後に郵送します。

〔Ⅱ〕入学検定料の納入方法

入学検定料　　35,000円

⑴　入学検定料は銀行等の金融機関の窓口からの振り込みに限ります。郵便局からの振り込みはできません。また、現金自動支払機（ＡＴＭ）による振り込みは、受け付けません。

⑵　払込用紙〈Ⓐ・Ⓑ票〉は、志願票〈Ⓒ票〉および「受験票」と一連つづりとなっていますので、必要事項をすべて記入の上、そのまま切り離さずに、入学検定料と振込手数料を添えて金融機関の窓口に提出してください。

⑶　振り込んだ後、Ⓑ・Ⓒ票および「受験票」を受け取り、Ⓑ・Ⓒ票に金融機関の収納印があることを確認してください。

※収納印がない場合は、振り込んだ金融機関で押印してもらってください。

⑷　Ⓒ票および「受験票」を出願書類に同封してください。

⑸　Ⓑ票は領収書です。本人が大切に保管してください。

〔Ⅲ〕出願要領

1．出願書類は本学所定の封筒を使用し、必ず書留速達で郵送してください。

2．内容に不備がないか、郵送前によく確認してください。

〔Ⅳ〕出願上の注意

1．人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野の志願者は、指導を希望する教員と事前にコンタクトを取ることが望ましい。

2．出願後は志望分野の変更を一切認めません。

3．いったん納入された入学検定料および提出書類は返還しません。

4．身体に障害があり、受験に際して特別の配慮を必要とする志願者は、受験方法等の準備のため、出願に先立ち、人間科学部事務室に申し出て相談してください。

8．志願票・受験票記入上の注意

志願票は(A)～(C)の各票からなっており、記入に際しては黒のボールペンを使用し、文字は楷書、数字は算用数字で正確明瞭に記入し、該当事項は○で囲んでください。なお、※印の欄は記入しないでください。

誤って記入した場合は、訂正箇所に二重線を引き押印の上、正しく記入してください。また、必ず自筆で記入してください。記入にあたっては、6 ページ「志願票・受験票記入例」を参照してください。

先方銀行欄＜(A)票＞

希望する銀行の番号を○で囲んでください。

志願者氏名＜(A)～(C)票・受験票＞

志願者の本名を楷書で丁寧に記入してください。外国籍の者が通称名を用いる場合は、登録原票記載事項証明書に記載されている通称名に限ります。(A)・(C)票、受験票には必ずフリガナをカタカナで明記してください。

志願者への連絡先住所欄＜(A)・(C)票＞

本人への連絡先(郵便番号・住所・電話番号)を記入してください。

「市」の場合、都道府県は省略してください。

番地は算用数字で記入してください。丁目・番地などはハイフン「―」を使用してください。

なお、この住所宛に受験票および判定結果通知書を送付します。

希望する専門分野＜(C)票＞

希望する専門分野を記入してください。また、第 2 希望とする分野があれば、併せて記入してください。

生年月日＜(C)票＞

西暦および元号で記入してください。

学歴・職歴欄＜(C)票＞

志願者本人の最終学歴まで記入してください。

職歴もあれば(現職がある場合は特に詳しく)併せて記入してください。

写真＜(C)票・受験票＞

写真は次のものを用い、裏面に氏名を明記し、貼付してください。

(1) 最近 3 か月以内に撮影した写真（カラーも可）

(2) 大きさは縦 4 ㎝・横 3 ㎝

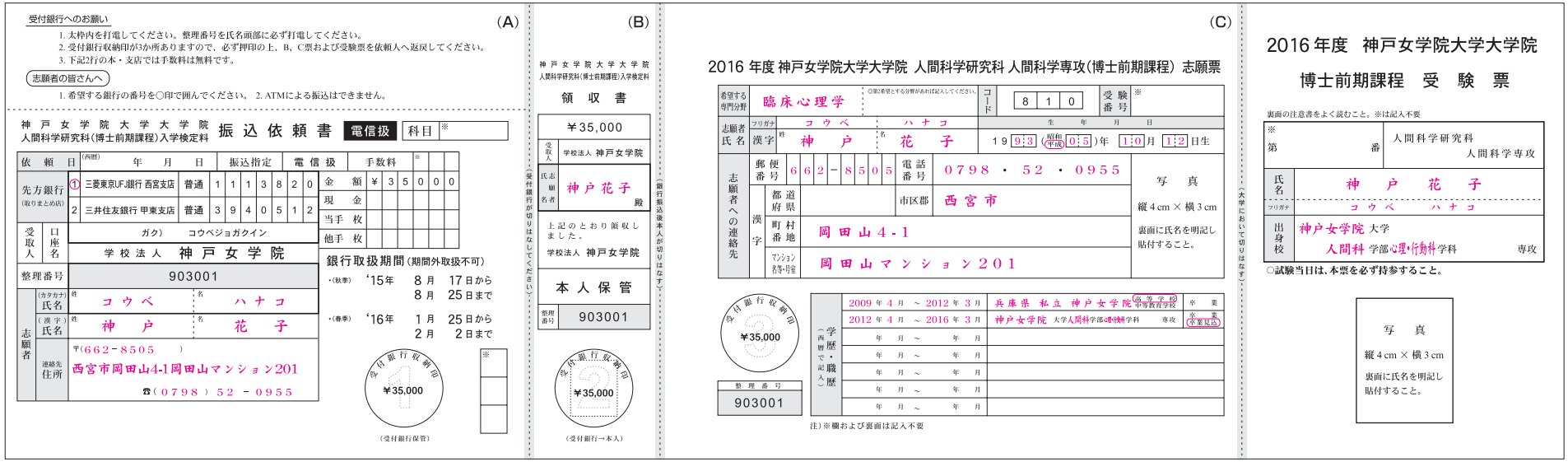
(3) 正面・上半身・無帽で背景は無地のもの

出身校＜受験票＞

志願者の出身校を記入してください。

注）志願票提出後の変更は一切認めません。

志願票・受験票記入例



（A）

受付銀行へのお願い

1. 太枠内を打電してください。整理番号を氏名頭部に必ず打電してください。
2. 受付銀行収納印が3か所ありますので、必ず押印の上、B、C票および受験票を依頼人へ返戻してください。
3. 下記2行の本・支店では手数料は無料です。

志願者の皆さんへ

1. 希望する銀行の番号を○印で囲んでください。 2. ATMによる振込はできません。

神戸女学院大学大学院
人間科学研究科（博士前期課程）入学検定料　振込依頼書　電信扱　科目　※

依頼日	（西暦）年 月 日	振込指定	電信扱	手数料	※
先方銀行（取りまとめ店）	① 三菱東京UFJ銀行 西宮支店	普通	1113820	金額	¥350000
	2 三井住友銀行 甲東支店	普通	3940512	現金	
				当手	枚
				他手	枚

受取人 口座名	ガク）コウベジョガクイン 学校法人 神戸女学院
整理番号	903001
志願者 氏名（カタカナ）	姓 コウベ 名 ハナコ
志願者 氏名（漢字）	姓 神戸 名 花子
志願者 連絡先住所	〒（662－8505 ） 西宮市岡田山4-1岡田山マンション201 ☎（0798）52 － 0955

銀行取扱期間（期間外取扱不可）

・（秋季） ‘15年 8月 17日から 8月 25日まで

・（春季） ‘16年 1月 25日から 2月 2日まで

受付銀行収納印 ①（1） ¥35,000

（受付銀行保管）

※

（受付銀行が切りはなしてください）

（B）

神戸女学院大学大学院
人間科学研究科（博士前期課程）入学検定料

領収書

¥35,000

受取人 学校法人 神戸女学院

志願者名 神戸花子 殿

上記のとおり領収しました。

学校法人 神戸女学院

本人保管

整理番号 903001

受付銀行収納印 ②（2） ¥35,000

（受付銀行→本人）

（銀行振込後本人が切りはなす）

（C）

2016年度 神戸女学院大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻（博士前期課程）志願票

希望する専門分野	臨床心理学 ○印は希望とする分野があれば記入してください。	コード 810	受験番号 ※
志願者氏名	フリガナ コウベ ハナコ	生年月日	
	漢字 姓 神戸 名 花子	19 93 （昭和 平成 05）年 10 月 12 日生	
志願者への連絡先	郵便番号 662－8505	電話番号 0798・52・0955	写真 縦4cm×横3cm 裏面に氏名を明記し貼付すること。
	都道府県	市区郡 西宮市	
	町村番地 岡田山4-1		
	マンション名等・号室 岡田山マンション201		

受付銀行収納印 ¥35,000

整理番号 903001

学歴・職歴（西暦で記入）		
2009年4月 ～ 2012年3月	兵庫県 私立 神戸女学院（高等学校 中等教育学校）	卒業
2012年4月 ～ 2016年3月	神戸女学院 大学 人間科学部 心理・行動科学科 専攻	卒業 卒業見込
年 月 ～ 年 月		
年 月 ～ 年 月		
年 月 ～ 年 月		
年 月 ～ 年 月		
年 月 ～ 年 月		

注）※欄および裏面は記入不要

（大学において切りはなす）

2016年度 神戸女学院大学大学院
博士前期課程 受験票

裏面の注意書をよく読むこと。※は記入不要

※第 番	人間科学研究科 人間科学専攻
氏名	神戸 花子
フリガナ	コウベ ハナコ
出身校	神戸女学院 大学 人間科 学部 心理・行動科 学科 専攻

○試験当日は、本票を必ず持参すること。

写真 縦4cm×横3cm 裏面に氏名を明記し貼付すること。

9．判定結果通知

a．秋季試験	b．春季試験
2015年 9 月19日(土)	2016年 2 月27日(土)

上記日付で志願者全員に郵送で判定結果を通知します。その後、合格者には入学手続き関係書類を郵送します。

10. 入学手続き

a．秋季試験合格者	b．春季試験合格者
2015年10月 9 日（金）までに入学申込金を納入し、必要書類を提出してください。この手続きを行わない場合は入学許可を取り消します。 授業料・教育充実費（前期分）は2016年 3 月24日（木）までに納入してください。 なお、入学手続き完了後、2016年 3 月31日（木）（締切日消印有効）までに簡易書留にて入学辞退届を提出した場合に限り、授業料・教育充実費の前期分相当額のみ返還します。 ※入学申込金（入学金と同額）は、授業料・教育充実費の納入と同時に入学金として取り扱います。	2016年 3 月24日（木）までに入学金と授業料・教育充実費（前期分）を納入し、保証書その他の書類を提出してください。この手続きを行わない場合は入学許可を取り消します。 なお、入学手続き完了後、2016年 3 月31日（木）（締切日消印有効）までに簡易書留にて入学辞退届を提出した場合に限り、授業料・教育充実費の前期分相当額のみ返還します。

11. 納　付　金

2016年度（平成27年度）は未定です。以下に 2015年度（平成26年度）の納付金および諸会費に関する事項を示します。

	初年度納付金（年額）	入学手続時納付金
入学金	200,000円	200,000円
授業料	403,000円	201,500円
教育充実費	193,000円	96,500円
合計	796,000円	498,000円

注意事項 ⑴ 入学金は初年度のみ徴収します。
⑵ 神戸女学院大学卒業後、本大学院に入学する者は、入学金を半額（100,000円）とします。
⑶ 履修する科目によっては実験実習料を入学後に徴収します。
⑷ 他にめぐみ会〔同窓会〕入会金10,000円（本学院出身者は不要）を後期に徴収します。
⑸ いったん納入された入学金または入学申込金は、返還しません。
※ 上記納付金および入学検定料には、消費税は課されません。

12. 社 会 人 入 学

1．募 集 人 員　　人間行動学分野、環境科学分野、健康科学分野　若干名
＊臨床心理学分野の募集はありません。

2．出 願 資 格　　次の各項の要件をすべて満たす女子。

⑴ 下記の条件のいずれかに該当する者。
・大学卒業後、3年以上経過した者。
・外国において、学校教育における16年の課程を修了し、3年以上経過した者。
・文部科学大臣の指定した者。

⑵ 学科目の履修（30単位）が可能で、指導を希望する教員と事前相談の上で研究計画書の提出ができる者。

3．試　　験　　日　　2016年2月18日（木）
（博士前期課程春季一般入学試験と同じ）

4．試験科目・試験時間割および試験場

専門分野	科　　目	時　　間	試験場
人間行動学 環境科学 健康科学	人間科学共通筆記試験 ・英　語 ・日本語論述	 13：00～13：40（40分） 13：50～14：30（40分）	S-19
	面　　接	14：40～順次	S-18

※試験場はp.16「学校案内図」参照のこと。
※都合により、試験場は変更されることもあるので、当日の案内・掲示等に従ってください。

⑴ 筆記試験　（春季一般入学試験と同一内容のもの）
・英語（大学側で用意した辞書のみ使用可）
・日本語論述

⑵ 面接
事前に提出された大学の成績証明書、これまでの活動、業績を説明する書類、研究計画書を基に行う。

5．受験上の注意　　博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

6．出願期間・方法　　博士前期課程春季一般入学試験と同じ。
※出願期間　2016年1月25日(月)～2月2日(火)

7．出 願 手 続 き
〔Ⅰ〕出 願 書 類　　博士前期課程春季一般入学試験と同じ。
〔Ⅱ〕入学検定料の納入方法　　博士前期課程春季一般入学試験と同じ。
〔Ⅲ〕出 願 要 領　　博士前期課程春季一般入学試験と同じ。
〔Ⅳ〕出願上の注意　　博士前期課程春季一般入学試験と同じ。
※指導を希望する教員と事前に相談の上、研究計画書を提出すること。

8．志願票・受験票記入上の注意　　博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

9．判定結果通知　　博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

10．入 学 手 続 き　　博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

11．2016年度納付金　　博士前期課程春季一般入学試験と同じ。

神戸女学院大学大学院
人間科学研究科概要

■　人間科学専攻　博士前期課程

人間科学研究科は人間科学専攻の１専攻とし、①臨床心理学、②人間行動学、③環境科学、④健康科学の相互に関連した４つの専門分野を置く。本研究科では、個々の専門分野の研究を深化させるとともに、相互に有機的関連を保ちつつ教育・研究を展開することを目指して１専攻としている。これら４つの専門分野では次のような教育・研究を行う。

【専門分野】

①臨床心理学

現代社会を生きる我々は、人生の様々な局面で複雑・多様な心理的問題に直面する。本専門分野は、臨床心理学の専門知識を用いた心理臨床的支援を様々な実習を通して体系的・実践的に学ぶとともに、教育・医療・福祉・産業・司法矯正等の近接領域の専門家と協働した支援の在り方を探求する。同時にこれらの実践を伴う研究を通して、心の本質、人格とその発達及び逸脱・障がい、家庭や親密な対人関係のもつ機能、社会への適応等、現代社会のニーズに応える諸知識を探求する。

なお、本専門分野は「臨床心理士」受験資格に伴う養成課程（第一種）を兼ねている。

②人間行動学

人間は多くの事柄を認識して、日常的に様々な判断・行動をとっている。従来、人間の判断は常に合理的で正しいものだと考えられていたが、膨大な情報を効率良く処理するために、人間の判断・行動には様々な特徴が存在することが明らかにされつつある。そして、この特徴は状況によって不適切な場合もあり、教育・産業・交通・医療など様々な領域で社会問題につながっている。この分野では、このような現代社会に関連する問題意識をもとに、人間行動の基本的特徴を理解するとともに、どのような情報化社会・文化を構成していくべきなのかを探究する。

③環境科学

今日の社会において、人間の欲望を追い求め、単なる技術の発展のみを推進していけば、我々人類のみならず地球上のあらゆる生物の生存すらが、脅かされるという環境問題への認識が高まっている。そこで、我々を取り巻く自然環境の現状把握と将来予測を通じてその持続可能性を高めるために、原生的な環境から人工的に改変された環境にいたるさまざまな環境を対象として、人間と環境のかかわり方を視野に入れながら環境汚染や生態系に関する諸問題を中心に教育・研究を行う。

④健康科学

社会の複雑化と長寿化を迎えた21世紀に、健康は人々にとってますます重要なものとなっている。健康とは、身体的、精神的および社会的に良好な状態とされているが、これらは独立して存在しているわけではなく、お互いに密接に関連しあっている。従って、本専門分野では、複雑に変化する現代社会において、環境や生活習慣、さらには心の問題が人間の身体におよぼす影響を、自然科学や医科学の手法を用いて、実証的に研究する。

教 育 課 程

教育課程は、①人間科学合同演習、②専門分野の講義、③専門分野の演習・実習、④特別研究、⑤関連科目、から構成され、修士論文を必修としている。

人間科学合同演習（4単位）は、総合的・学際的な研究方法を強めるために、4つの専門分野からそれぞれ教員が参加して全学生の2年間にわたる必修科目として設ける科目であり、隣接あるいはやや異なった領域の学生・教員が協力して分野間の有機的結合を図ることを目的としている。

専門分野の講義（各2単位）は、臨床心理学、人間行動学、環境科学、健康科学の各分野について専門的な講義科目を設ける。

専門分野の演習（8単位、臨床心理学分野以外）は、研究指導教員が学生の研究テーマに応じて行う演習指導である。

専門分野の実習（臨床心理学分野）臨床の現場重視の観点から実習科目を3科目（各2単位）設ける。

特別研究（8単位）は、研究指導教員が学生個人を対象に、修士論文作成に関する種々の研究を指導する枠として設けている。

関連科目は、学識豊富あるいは、最先端の研究者に集中講義を依頼して新鮮な学問的刺激が得られるようにする。又、情報科学特論を設け、専門分野の研究を支援する。

修士論文は全員の必修とし、公開の場で発表し評価をうけることとする。

2年間に必修科目4単位、選択必修科目20単位（臨床心理学分野は22単位）、選択科目6単位（臨床心理学分野は4単位）の合計30単位以上を修得し、修士論文の審査に合格した者には修士（人間科学）の学位を授与する。

2015年度　授業科目・担当教員

専門分野	担当教員	合同演習	講義	演習	実習		特別研究
		各2単位	各2単位(＊4単位)	各4単位	1年次(2単位)	2年次(2単位)	各4単位
臨床心理学	石谷真一教授 小林哲郎教授 國吉知子教授 鶴田英也准教授	**人間科学合同演習Ⅰ・Ⅱ** 小林哲郎研究科長 各分野から1名 合計5名	**心理統計法特論** 神原　歩講師 **認知行動療法特論** **臨床心理学特論** 石谷真一教授 小林哲郎教授 **臨床心理面接特論** 國吉知子教授 **投影法特論** **心理療法特論** 鶴田英也准教授 **臨床精神医学特論(学外実習を含む)** 吾妻　壮教授他 **犯罪心理学特論** 齋藤文夫講師 **心身医学特論** **＊臨床心理査定演習** 石谷真一教授他 **臨床心理比較文化特論** 鵜飼奈津子講師		**臨床心理基礎実習** 吾妻　壮教授 石谷真一教授 小林哲郎教授 國吉知子教授 鶴田英也准教授	**臨床心理実習** 吾妻　壮教授 石谷真一教授 小林哲郎教授 國吉知子教授 鶴田英也准教授 **臨床心理地域実践実習** 吾妻　壮教授 石谷真一教授 小林哲郎教授 國吉知子教授 鶴田英也准教授	**臨床心理学特別研究Ⅰ・Ⅱ** 石谷真一教授 小林哲郎教授 國吉知子教授 鶴田英也准教授
人間行動学	出口　弘教授 三浦欽也教授 小林知博准教授		**社会心理学特論** 小林知博准教授 **認知心理学特論** 増本康平講師 **生涯発達心理学特論** **人間情報処理特論** 三浦欽也教授	**人間行動学演習Ⅰ・Ⅱ** 出口　弘教授 三浦欽也教授 小林知博准教授			**人間行動学特別研究Ⅰ・Ⅱ** 出口　弘教授 三浦欽也教授 小林知博准教授
環境科学	遠藤知二教授 張野宏也教授 中川徹夫教授 野寄玲児教授 三宅志穂准教授 横田弘文准教授		**環境科学特論Ⅰ** 横田弘文准教授 **環境科学特論Ⅱ** 張野宏也教授 **動物生態学特論** 遠藤知二教授 **植物生態学特論** 野寄玲児教授 **環境分子生物学特論** 横田弘文准教授 **分析化学特論** 張野宏也教授 **溶液科学特論** 中川徹夫教授 **基礎物理化学特論** 中川徹夫教授 **環境社会学特論** 三宅志穂准教授	**環境科学演習Ⅰ・Ⅱ** **環境科学演習Ⅰ(A)－(F)** **環境科学演習Ⅱ(A)－(F)** 遠藤知二教授(A) 野寄玲児教授(B) 張野宏也教授(C) 中川徹夫教授(D) 横田弘文准教授(E) 三宅志穂准教授(F)			**環境科学特別研究Ⅰ・Ⅱ** 遠藤知二教授 野寄玲児教授 張野宏也教授 中川徹夫教授 横田弘文准教授 三宅志穂准教授
健康科学	吾妻　壮教授 西田昌司教授 塩見尚史教授 高岡素子教授 寺嶋正明教授		**精神医学特論** 吾妻　壮教授 **細胞生物学特論** 西田昌司教授 **食品分子機能学特論** 寺嶋正明教授 **食品基礎科学特論** 高岡素子教授 **応用生命科学特論** 塩見尚史教授	**健康科学演習Ⅰ・Ⅱ** 吾妻　壮教授 西田昌司教授 塩見尚史教授 高岡素子教授 寺嶋正明教授			**健康科学特別研究Ⅰ・Ⅱ** 吾妻　壮教授 西田昌司教授 塩見尚史教授 高岡素子教授 寺嶋正明教授

関連科目 （各2単位）	人間科学特別講義Ⅰ 人間科学特別講義Ⅲ 人間科学特別講義Ⅴ	 森真佐子客員准教授 山田　久講師
	専門領域通訳特論（自然科学）Ⅱ	西田昌司教授
	情報科学特論 ESD特論	出口　弘教授 三浦欽也教授

■　特別研究の内容

◎臨床心理学特別研究

石谷真一教授　臨床心理学の領域において、修士論文の作成に向けた院生各自のテーマに基づく研究を指導していく。事例研究、調査研究、文献研究のいずれにおいても研究法の基本を押さえた学問的研究となるよう個別の指導を進めるほか、受講生間で討論する機会を設けその能力を伸ばせるよう指導する。

小林哲郎教授　各自の問題意識を深化させるように、臨床心理学的テーマに関する文献を検索して精読を促し、問題点を整理してもらう。その上で調査、実験などのデータの分析や事例に基づいて、より深い考察を加えた研究を修士論文にまとめるよう指導する。

國吉知子教授　院生各自の問題意識や関心テーマを臨床心理学的観点から捉えなおし、調査、実験、事例研究などのさまざまな心理学研究法を用いて探求、分析し、修士論文作成に収斂していけるよう指導する。グループファシリテーター経験やディスカッションの場を通して scientist-practitioner としての研究、実践能力を養成する。

鶴田英也准教授　各自の問題意識やパースペクティブを、日々の心理臨床実践はもちろんのこと、心理学に限らない学際的な思考も通じて探求、精錬し、それを再び心理臨床実践へ還していく方法を習得するよう指導する。その作業を修士論文としてまとめるべく、理論（文献）研究、調査（量的・質的）研究、事例研究などの様々な方法を用いていく。

須藤春佳専任講師　臨床心理学分野のテーマに関する修士論文の作成に向けて研究指導を行う。具体的には、各自の問題意識に関連したテーマに関する文献や先行研究の精読、および研究計画の立案と実施、そして結果の分析と考察を計画的に進め、各自の研究テーマを深められるよう指導を行う。

◎人間行動学特別研究

出口　弘教授　計算機工学、特にコンピュータグラフィックス、マルチメディアの領域において、実験的研究を進め、個々のテーマに応じて、修士論文の作成に向けて指導していく。

三浦欽也教授　知能・情動を含む認知科学の領域において、主に情報科学的な手法を用いて、理論的あるいは工学的な研究テーマにそった研究指導を行ない、修士論文の作成を指導する。

小林知博准教授　社会心理学あるいは社会的認知心理学の領域において、個々の研究テーマに沿った修士論文作成の指導をする。内容としては、英文の関連文献講読を多数行い、独自のテーマに基づいた仮説をたて、実験・調査を実施し、データ解析を行い、結果について論述していく。

矢野円郁准教授　認知心理学、あるいは教育・発達の領域において、各自の研究テーマに沿った修士論文の作成を指導する。各自の問題意識に関連する文献を多数精読し、先行研究の理論を整理するとともに、独自の仮説を立て、実験や調査など、適切な研究方法を用いてデータを収集し、分析・考察した内容を論文にまとめる。

◎環境科学特別研究

遠藤知二教授　動物生態学、行動生態学、あるいはそれらを基礎とした保全生態学の領域で、おもに野外調査にもとづく研究テーマを設定した院生に対して、修士論文の作成に必要な諸技術の指導を行う。

張野宏也教授　環境中における汚染物質の動態、生態系への影響および処理方法を中心に、グローバルな視点と身近な環境の両面より環境問題を考える。これらの研究活動を遂行していく上で、大学院生自ら、学会および論文発表などの目標をもって、研究を発展させていくよう指導する。

中川徹夫教授　中学校・高等学校の理科教育（化学教育）に関連する研究テーマ（マイクロスケール実験教材の開発・改良等）を設定する。先行研究の調査、研究の推進、修士論文の作成に関する指導・助言を行う。

野寄玲児教授　植生学およびその関連領域（植物生態学､保全生態学など）に関する修士論文を作成する大学院生に対して、フィールドワークの進め方、データの解析法、論文の作成等について指導・助言を行う。

三宅志穂准教授　「人と環境」に関する研究テーマに取り組む学生に対する修士論文の指導を行う。研究対象とする事例は国内外に広く求め、研究は文献収集，実地調査を通した実証的アプローチにより進める。学会発表や学術雑誌への投稿も推奨し、助言と指導を行う。

横田弘文准教授　化学物質の環境生物に対する影響に関して、室内曝露実験及びフィールド調査の両面から研究を行う。独力で研究を遂行できるよう研究計画の立案、実験技術、論文の執筆方法、口頭発表の方法等に関して助言、指導する。

◎健康科学特別研究

吾妻　壮教授　精神医学の分野において、個々の研究テーマに沿った修士論文の作成に向けて研究指導を行う。各自の問題意識を深め、関連する文献の精読、研究計画の作成とその遂行について指導を行う。

西田昌司教授　医科学のテーマ、とくに生体のストレス応答の解析を中心に、予防医学、環境医学の観点から実証的研究を行う。研究主題の設定、細胞・分子生物学的手法を用いての実験、データ解析、成果発表に至る研究能力を身に付けることを目的に指導を行う。

塩見尚史教授　応用生命科学に関するテーマを設定し、実験を行う。特に、老化やメタボリックシンドロームに関する研究、細胞の再生に関する研究、組み換え微生物による医薬の生産に関する研究について行う。また、学会発表も積極的に行ない、実践力を身につけていく。

高岡素子教授　食品の持つ栄養学的・生理学的機能について、ヒトを対象とした実験または調査によりアプローチし、解明する。研究テーマに対しての実験計画の立て方、データ解析、論理的な考察法など科学的な論文を作成するために必要な能力を養うことを目的に指導する。

寺嶋正明教授　遺伝子解析、タンパク質解析の手法を用いて、食品分子の持つ機能を細胞レベル・タンパク質レベルで明らかにすることで食生活と健康の関係を考える。研究計画の合理的な立て方、実験手法を習得し、実証的な研究方法を身につける。

■ 「臨床心理士」養成第１種指定大学院

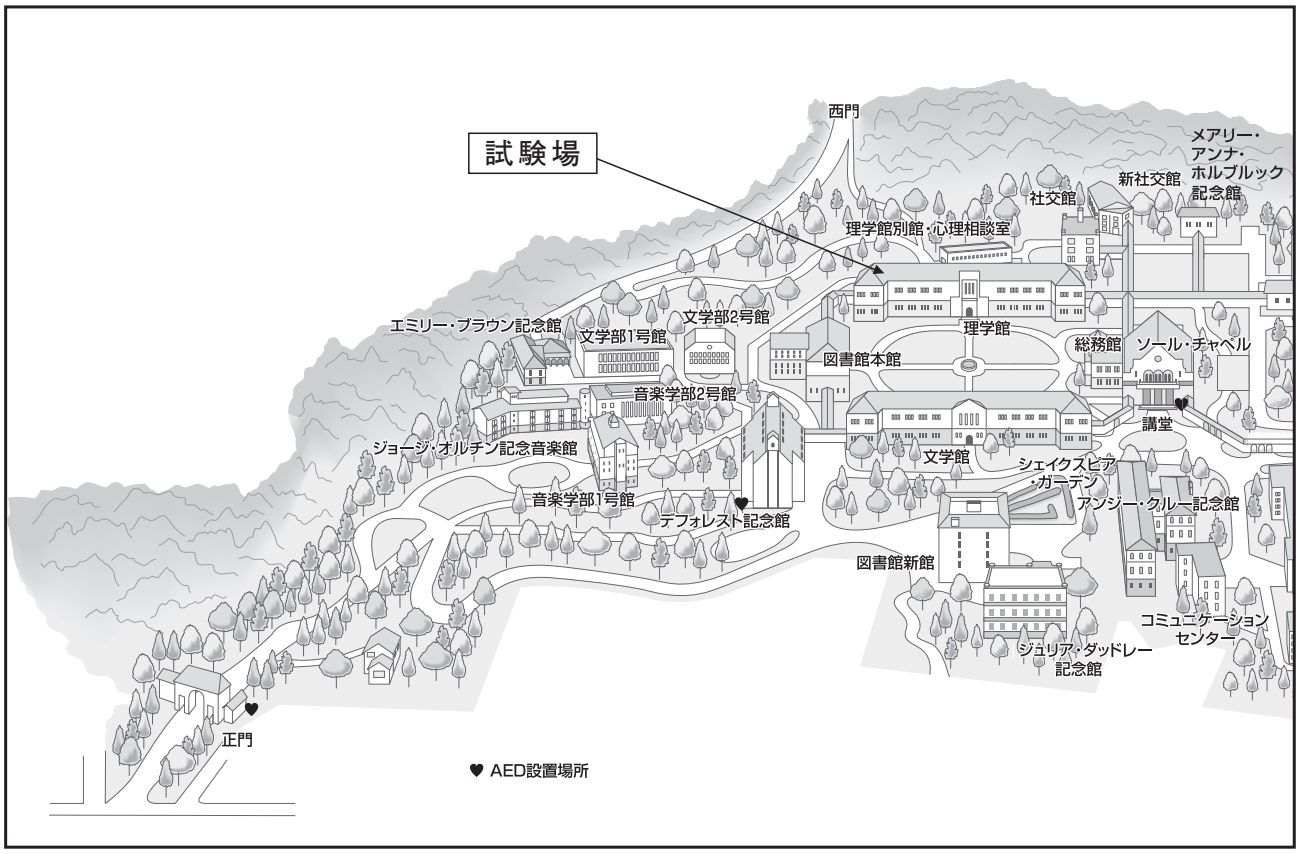
臨床心理学分野は2002年に臨床心理士養成のための第１種指定大学院に認可され、多くの修了生が臨床心理士として教育・福祉・医療等の現場で活躍しています。2007年に文部科学省より大学院教育支援プログラムに採択されたのを機に、アウトリーチ活動や子育て支援プログラムなど心理相談室の地域実践活動をカリキュラムに連動、個別の心理相談に加えて多様な臨床活動の創造・実践を学べます。

■ 中学校・高等学校理科専修免許状取得について

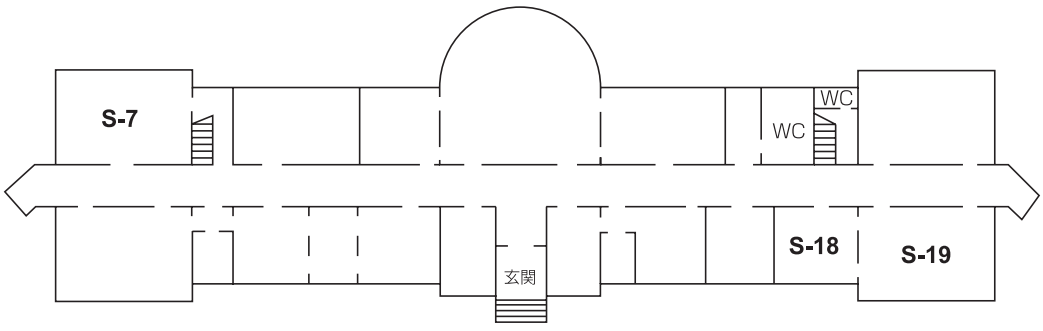
環境科学分野に所属し、教科「理科」の中学校または高等学校一種普通免許状を有する者は、必要科目を履修することにより、教科「理科」の中学校または高等学校専修普通免許状を取得することが可能です。

学校案内図

＜学内図＞



＜試験場＞



理学館１階

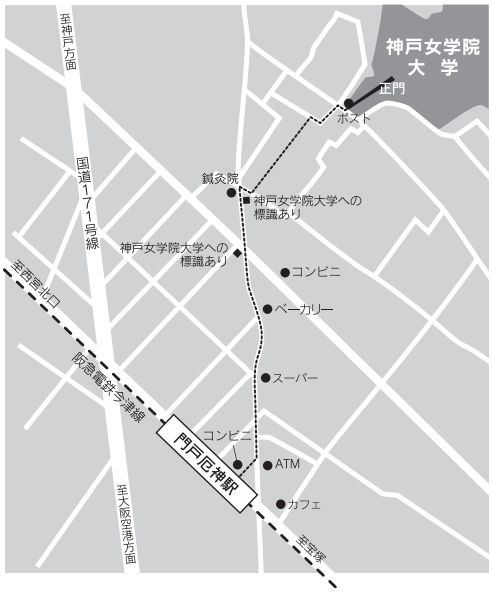
交通案内

阪急電鉄神戸線「西宮北口」で今津線宝塚行きに乗り換え「門戸厄神（もんどやくじん）」下車、徒歩約10分。
阪急「梅田」・「三宮」から「西宮北口」までの所要時間は特急で約15分。

阪急電鉄

梅田 ―神戸線 特急で約15分―
三宮 ―神戸線 特急で約15分―
→ 西宮北口（乗り換え） ―今津線 約2分― 門戸厄神 ―徒歩 約10分― 神戸女学院

道順



神戸女学院大学　人間科学部事務室

〒662-8505 兵庫県西宮市岡田山４番１号 ☎（0798）51－8553